少年非行の要因

科目ナンバリング　CLI-204
選択　　2単位

岡本　潤子

1. 授業の概要（ねらい）

本授業では，犯罪・非行について，また，家事事件について，基本的な制度を理解し，心理学が果たしている役割を学びます。犯罪・非行の分野では，警察による捜査，裁判所による審理と決定，少年院や刑務所による収容処遇，保護観察による在宅処遇など，法律で決まった制度があり，粛々と手続きが流れているかのように思えます。しかし，法律だけでは，人間の行動である犯罪や非行を，十分に理解することも，必要な支援をすることもできません。心理学の知恵は，法律が人を扱うときにできる隙間を埋め，犯罪者と被害者，また，その双方を含む社会の立直りを実現するために役に立っているのです。また，民事事件の分野では，特に家庭の問題を扱う家事事件において，心理学の果たす役割が大きくなります。行為能力に欠ける人の保護や支援，離婚する人の気持ち，親の離婚を経験する子どもの福祉，親族の争いごとなどを扱う分野です。授業では，犯罪・非行について，また，家事事件について，制度を学んだうえで，心理学の視点で整理していきます。

公認心理師試験における「司法・犯罪に関する心理学」の領域に対応する内容を扱うので，授業はやや網羅的になります。しかし，その中でも，授業において，これまでの自分の経験からの考えだけでなく，多角的にこれらの現象を見ていく態度が皆さんの中に育まれていくことを期待します。大教室での講義授業ですが，知識を深めるだけでなく，社会の一員であり，有権者である皆さんが，授業の中で考える時間を大切にしたいと思います。興味に流れやすいトピックですが，真剣に取り組んで学んでみましょう。

2. 授業の到達目標

① 犯罪，少年非行の制度や機関について，仕組みや活動倫理を説明できる。
② 犯罪，少年非行の要因の理論について説明できる。
③ 犯罪，少年非行の立直り支援の仕組みについて説明できる。
④ 犯罪被害者への支援の制度や理念について説明できる。
⑤ 家事事件の制度や，家事事件における子どもの福祉がどのように扱われているかについて説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

試験の成績(75%)と，授業参加状況(25%)を総合して評価します。授業参加状況とは，カードリーダーによる各授業の出欠席登録数ではなく，授業内で不定期に実施する振り返りシート(リアクションペーパー)の提出状況とその内容の評価のことを指します。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは指定せず，毎回，授業のレジュメを配布します。

参考文献

バートル&バートル　『犯罪心理学』　北大路書房
日本犯罪心理学会　『犯罪心理学事典』　丸善出版
廣井亮一，中川利彦　『子どもと家族の法と臨床』　金剛出版
門本泉（編著）　『司法・犯罪心理学』　ミネルヴァ書房
河野荘子・岡本英生（編著）　『コンパクト司法・犯罪心理学』　北大路書房

5. 準備学修の内容

授業で紹介する書物，新聞，専門誌，インターネットのサイトなどを興味を持って読み，関心を広げてください。
配布する授業のレジュメは，テストに持ち込む大切な資料になるので，授業ごとに確認・整理し，授業時持参するようにしてください。

6. その他履修上の注意事項

① 配布するレジュメは概要なので，講義により細部を充実させ，内容を理解することが必要です。
② 知識を得るだけではなく，犯罪・非行，また，家事事件に対する自分の立ち位置を振り返る姿勢を持ってください。
③ 大教室の授業です。授業中は，私語や，他の学生の迷惑になる行為は慎んでください。
④ ＜重要＞教室の大きさにあわせ，受講者数を制限する可能性があります。初回授業のLMSコンテンツは，遅滞なく受講してください。

※ 2018年度以降の入学生には、公認心理師受験資格に必要な科目です。
2017年度以前の入学生は、心理学科のホームページを参照してください。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション。犯罪・少年非行についての定義等。（LMS　オンデマンド）

【第2回】　日本における犯罪・非行の現状。犯罪・非行事件の手続きの流れ。各法律および関係機関の役割
【第3回】　関係機関における職種の立ち位置および具体的活動
【第4回】　犯罪理論の発展の歴史。犯罪・非行の要因　①　(生物学的な要因論）
【第5回】　犯罪・非行の要因　②　(心理学的な要因論）
【第6回】　犯罪・非行の要因　③　(社会心理学的な要因論）
【第7回】　犯罪・非行の要因　④　(アセスメントからの視点。犯罪と環境）
【第8回】　非行の要因論を事例で理解する。（架空事例を使って）　（LMS　オンデマンド）
【第9回】　犯罪・非行からの立直り，修復的司法
【第10回】　家事事件の扱うことがら。手続きの流れ
【第11回】　家事事件における関係機関の役割り，および，各職種の活動
【第12回】　離婚と子どもの福祉　①（親の離婚と子どもに関わる制度）
【第13回】　離婚と子どもの福祉　②（子どもの受ける心理的影響と支援）
【第14回】　家事事件にあらわれる児童虐待
【第15回】　テスト